

4月

消毒剤の選び方



健康的な毎日送るために、今や欠かせないアイテムである『消毒剤』、沢山の種類が販売されています。感染症にかかったとき、どのように選べばよいのでしょうか？

○効果を重視するなら『医薬品』『医薬部外品』

市販されている消毒剤は『医薬品』『医薬部外品』とそれ以外（雑品）の2つに大別されます。『医薬品』『医薬部外品』は国が定めた品質、有効性、安全性の基準を満たしています。ただし、すべての感染症に有効というわけではありません。最近やウイルス等の特性に合った消毒剤を使用する必要があります。

除菌シートや抗菌スプレーは、有効性において厳しい基準は設けられていませんが、手軽で使いやすいのがメリットです。

※「滅菌」「殺菌」「消毒」といった効果を表す用語は「医薬品」「医薬部外品」にしか使用できません。

「除菌」「抗菌」は医薬品とは異なり、効果を表すものではありません。

○病原体と用途に合わせ消毒剤を使い分ける

① 手指やドアノブ（人がよく触れるもの）・・・消毒用エタノール

おもちゃなどにも使用でき、スプレーやポンプタイプの使いやすい製品が多いです。ただし、革製品や、ニスやワックスが塗られた家具に使用すると変色のおそれがあります。

② 食器やテーブル・・・逆性石鹼

無臭なので、口に入れるものや食材が触れるものに使いましょう。

ただし鉄を腐食させる作用があるので、鉄製の鍋などには使用しないでください。また、必ず希釈して使用します。

③ 吐瀉物がついた床など・・・次亜塩素酸ソーダ

家庭用の塩素系漂白剤でも代用できます。次亜塩素酸ソーダは、直接肌に触れると大変危険なので注意してください。また、酸と混ぜると塩素ガスが発生するので絶対に混ぜてはいけません。使用時は必ず希釈します。


○消毒剤で手が荒れるのはなぜ？

水分を保つ皮膚のバリア機能がアルコール消毒で菌と共に失われてしまいます。

消毒後は保湿作用のあるクリームや薬用ハンドジェルで保湿を、肌にうるおいを与えましょう！



LINEで処方箋の予約受付や健康相談ができます！！

処方せんを写真にとって送るだけで待ち時間が短縮できます。
また、薬剤師にLINEで体調やお薬についての相談もできます。
こちらのQRコードから  友だち追加 をしてくださいね♪

